



土砂災害

うるま市には、大規模な地すべり危険箇所や急傾斜地崩落危険箇所が多数あります。(市防災マップ参照)

これらの地域では、短時間に集中的に降る雨や長雨に注意が必要です。

土砂災害の前兆として、・小石がパラパラと落ちる、・地面にひび割れができる、・斜面から濁った水が流れ出す、・木の根が切れる音(パキパキ)が聞こえるなど、普段と違うと感じた場合、早めの避難が重要です。この場合、市や消防に通報しましょう。

また、気象台では、土中にどのくらいの雨水を含んでいるかデータを収集しており、危険と判断した場合には、テレビやラジオなどで「土砂災害警戒情報」を発信し、土砂災害の危険がある地域に警戒を促しております。



不発弾

不発弾とは、戦争などで使用された爆弾、ロケット弾、手榴弾、地雷などで、地上などに落下したが発火せずに不発となったものです。このような不発弾は、起爆装置(信管)の安全機構が外されており、何らかの衝撃で発火装置が起動しうる状態にあることが予想されるので非常に危険です。

不発弾を発見したら、触らずに最寄りの警察署や交番、海上保安署まで通報してください。

陸上部分での発見

最寄りの警察署
うるま警察署 8973-0110
石川警察署 8964-4110

海中での発見

中城海上保安署
8938-7118

沖縄は 竜巻発生率日本一

平成18年に、北海道佐呂間町や宮崎県延岡市で竜巻による死者が

まじりました。竜巻は、アメリカではトルネードと呼ばれ、一瞬で大きな災害を引き起こすと恐れられています。日本では、季節を問わず全国どこでも発生しており、一年間の平均発生数は17個で、数十メートル程度の狭い範囲に台風並の非常に強い風が吹き、数百〜数千メートルにわたって帯状の被害を発生させるといった特徴があります。さて、私たちの沖縄ではどうでしょうか。夏の海岸線を歩くと水平線の彼方に積乱雲から垂れ下がる竜巻を確認できる場合があります。

実は、沖縄県は、100キロメートル四方あたりの竜巻発生率が9.1個と全国一高い地域で、特に夏場は、雷雨や台風、熱帯低気圧に伴って多く発生し、人身被害や飛来物による建物の損壊等が発生しています。

これから竜巻の発生が多くなる季節です。もし、竜巻に遭遇した場合は、すぐに近くの頑丈な建物に避難し、ガラス窓から離れ、部屋の中央付近で身を守ってください。詳しい対処方法については、気象庁ホームページで紹介しています。
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tornado/index.htm>